



みみだより No.50

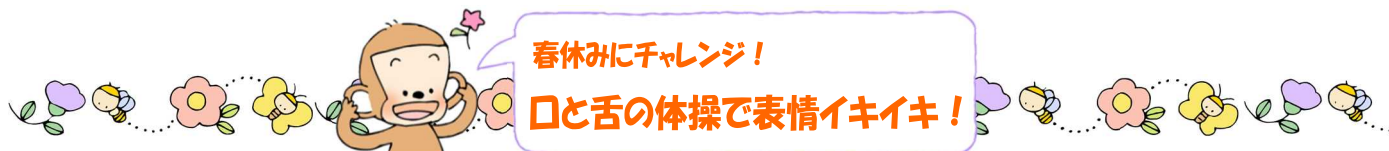
鳥取聾学校ひまわり分校

聴能担当

R6.3. 7

文責：西村

修了や進級が近づくにつれ、子どもたちの成長をお祝いしてくれているかのように、花がほころび始め、色鮮やかな景色に変わりつつあります。いよいよ、今年度も残りあとわずか。この一年で大きく成長した子どもたちの姿をうれしく、頼もしく感じているこの頃です。



幼稚部は「にこにこたいむ」、小学部は「きこえとことば」の時間に、発音発語・ことば・聴能に関する学習に取り組み、その中で『口と舌の体操』をしています。発音・発声のために使う口腔器官は、呼吸をするため、食べるためにも大切な器官でもあります。唇やほほ、お口周りや舌の筋力をアップすることで、口の機能が高まり、唾液がよく出るようになり、舌がなめらかに動いて食べ物を飲み込みやすくなります。顔の表情もイキイキしてきます。

この他にも、

☆熱いスープ等に「ふーっ」と息を吹きかけて冷ます。

☆麺類をちゅるちゅる吸い込む。

☆歯磨き後の「ぶくぶくうがい」

☆外から帰った後の「がらがらうがい」

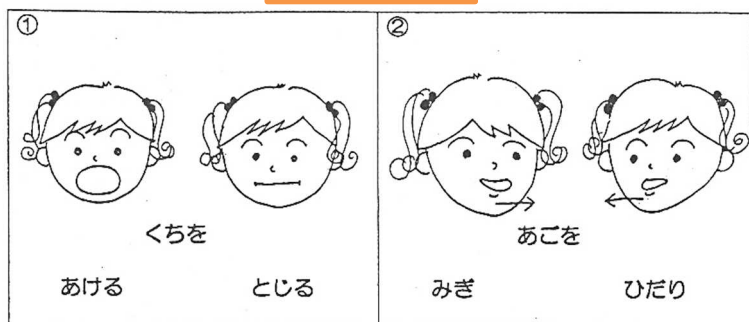
息のコントロールや
発音の基礎につながります！



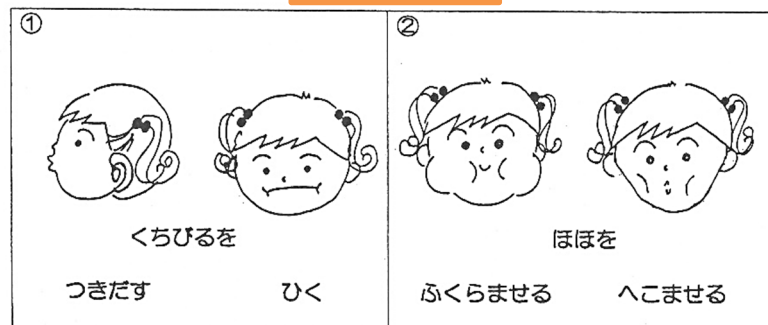
このような動きを、子ども達が遊びや生活の中で取り組んで獲得していくことが大切です。

ここでは、あごと唇の体操を載せています。また、舌の体操は裏面に載せています。ぜひお家でも親子で一緒に取り組んでみてください。

あごの体操

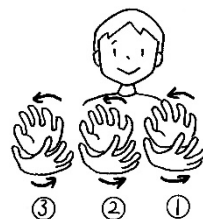


唇の体操

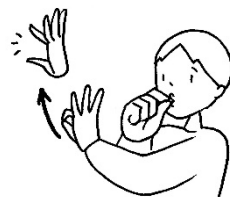


それぞれ10回ずつやってみよう！

ワンポイント 手話



花だん



シャボン玉

「おやこ手話じてん」より

引用・参考文献

「聴覚障害のある子どものための発音・発語指導テキスト」

岡山県立岡山聾学校自立活動課

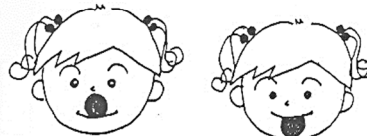
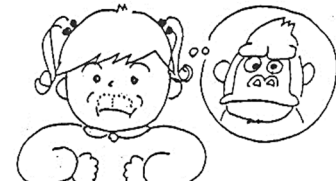
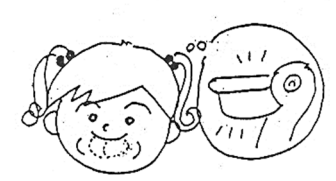
「聴覚障害児の発音・発語指導

一できることを、できるところから」

著者 永野 哲郎 (ジアース教育出版)

それぞれ10回ずつやってみよう！

舌の体操

①  おばけに なろう。	②  したを だす もどす
③  したを うえ した	④  したを みぎ ひだり
⑤  したを みぎまわり ひだりまわり	⑥  あめだまを つくろう。 みぎ ひだり
⑦  ごりらに なろう。	⑧  ぺりかんに なろう。
⑨  ちくわを つくろう。	⑩  したうちを しょう。

引用文献

「聴覚障害のある子どものための発音・発語
指導テキスト」

岡山県立岡山聾学校自立活動課